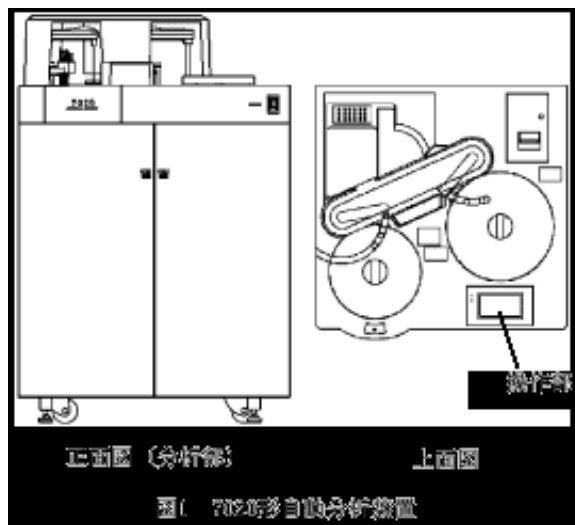


日立自動分析装置 7020型



概要

日立自動分析装置 7020は臨床検査用生化学自動分析装置です。本装置は基礎研究においては酵素活性を正確に自動分析することができます。本機器は、試料、装置を校正するための標準液、および装置の分析性能を管理するための精度管理用試料を用い、試料を一定量分取して分析を実施する分析部と、各機能の設定や測定結果の表示、保存、出力を行う操作部から構成されています。さらに分析部は、比色分析部と電解質分析装置から構成されています。

仕様

- (1) 処理能力: 最大200テスト/時 最大300テスト/時(電解質分析装置付き)
- (2) 同時分析項目: 最大36項目
最大39項目(電解質分析装置付き)
- (3) 試料量: 2.0~50.0 μL
- (4) 試薬量: 20~350 μL
- (5) 分析可能反応液量: 180~500 μL
- (6) 測定波長: 340~800 nm、12波長
- (7) 測光範囲: 0~3.0 Abs、2波長または1波長
- (8) 反応時間: 最長10分、測光ポイント数で項目ごとに可変
- (9) 反応温度: 37 ± 0.1 $^{\circ}\text{C}$
- (10) 分析方法: 1ポイント法、2ポイント法、3ポイント法、レートA法、レートB法、ほか
- (11) キャリブレーション: 直線法、非直線法、折れ線、ほか
- (12) 精度管理: 精度管理試料の測定